

シックスセンスズがカリブ海に進出

コロンブスが発見した歴史的な島でゲストに特別な体験を提供

2018年3月



シックスセンスズ セントキッツ建設予定地
(2021年オープン予定)

シックスセンスズ ホテル リゾート スパが選んだ次なるエキゾチックなデスティネーションは、大航海時代に発見された東カリブ海に浮ぶセントキッツ島です。この歴史情緒あふれる魅惑の島は、小アンティル諸島内のリーワード諸島北部に位置し、2つの島からなるセントクリストファー・ネイビス連邦の大きい方の島です。火山活動により、135キロにもおよぶ長い銀白色のビーチが海岸線に沿って広がり、内陸部では肥沃な大地の恵みを活かしたココナッツ果樹園やプランテーションが営まれています。

シックスセンスズ ホテル リゾート スパの新しいリゾートは、サトウキビ栽培に使用されていたプランテーションの跡地に建設されます。敷地内の丘からカリブ海のビーチに向かって緩やかな傾斜が続いています。全70室のプール付きヴィラとリトリートからは、美しいカリブ海とありのままの壮大な大自然の景色をお楽しみいただけます。日常の生活から遠く離れ、傑出した美しさと豊かな自然に囲まれたロケーションで、本来の自分と出会い、家族や恋人とのゆったりとした時間を過ごし、自然に溶け込み、他では体験できない特別な時間を満喫いただけます。

ゲストは、旧サトウキビプランテーションに囲まれたリゾートに到着後、オーガニックガーデンを抜けてレセプションエリアへと案内されます。チェックイン後、GEM (ゲスト エクスペリエンス メーカー) が電動カートでヴィラまでご案内します。全てのヴィラには、プライベートプランジプールを備え、コンテンポラリーで高い快適性を備えつつ、リサイクルに配慮した資材を使用した環境に優しいデザインは、シックスセンスズの環境保全を含むサステナビリティへの強いコミットメントを体現しています。室内の設計は、医療の専門家たちの協力のもと開発したSleep with Six Senses (快適な安眠環境)を採用し、安眠をサポートする英国Naturalmat社のマットレスを完備しています。省エネに配慮した照明やエアコンは、iPadでコントロールでき、ワイヤレスインターネットサービスやフラットテレビでの衛星放送をお楽しみいただけるなど、ゲストの利便性を高めるハイテク機能が充実しています。

「フード アンド ビバレッジ プラザ」では、カリブ海の新鮮なシーフードと、リゾートのオーガニックガーデンや地元の生産者からの新鮮で旬の野菜や果物、香辛料を使用した多種多様なメニューをお楽しみいただけます。食材は必要な量のみ収穫され、キッチンに届けられます。カリブ海の世界の伝説に基づいた「ザ ラム シャック」では、船乗りたちに好まれるラム酒ベースの飲み物などを提供します。メインのプールには、プール内で楽しめるスイムアップバーや、ゆ

ゆっくりくつろぎながら喉の渇きを癒せるプランテーションスタイルのラウンジを備えています。さらに子供用 **Grow With Six Senses** (ティーンセンターとキッズクラブ) も完備し、専任スタッフが常駐のプレイグラウンドを安心してご利用いただけます。

リゾート内の自然保護区を見渡すシックスセンス スパ セントキッツでは、シックスセンスのスペシャリティトリートメントやカリブ海諸島に伝わるヒーリング療法、**Integrated Wellness** (マルチ ウェルネスプログラム)、デトックス、ヨガ、ワークショップなどのメニューを提供します。スパには「アルケミー バー」が付設され、スパでの体験をよりパーソナライズされたものとしません。その他、ヨガ専用のパビリオンや設備の充実したジム、スパ専用ブティックを併設し、ブティックでは、シックスセンスオリジナルの製品をご購入いただけます。



東カリブ海に浮かぶセントキッツ島

リゾートの南には、島の中で2番目に大きな町、サンディーポイントタウンが位置し、1623年にイギリスの船長、トーマス・ワーナー卿が上陸した地点であると考えられており、かつてはこの地域で最も栄えた港のひとつでした。ユネスコの世界遺産であるブライムストーンヒル要塞への入り口でもあり、歴史愛好家の好奇心をくすぐる魅力的なエクスカッション先です。リゾートには、水陸両方のレクリエーションやレジャーを主催するアクティビティセンターを備え、思い出に残

る体験を手配します。認定を受けたダイビングセンターでは、初心者から上級者まで、水中での素晴らしい出会いが期待できるダイビング体験を提供します。

シックスセンス セントキッツは、ラグジュアリーなカリブ海リゾート開発を専門とするレンジディベロップメント社によるプロジェクトです。デザインの創案、マネージメント、マーケティングは、シックスセンス ホテル リゾート スパと共同で行い、2021年の完成を予定しています。

当プロジェクトの公式発表にあたり、セントクリストファー・ネイビス連邦首相、ティモシー ハリス閣下は、「レンジ ディベロップメント社が、ユニークなリゾートブランドであるシックスセンスとのプロジェクトをこの国にもたらしてくれることを喜ばしく思っています。レンジ ディベロップメント社のプロジェクトは、セントクリストファー・ネイビス連邦の市民と居住者に、投資と雇用、専門知識を提供してくれます。世界的に名高いパークハイアット セントキッツのグランドオープンに続いて、新たなラグジュアリーブランド・リゾートの受け入れ地となることは、小国である我が国の更なる発展に繋がります。これは、レンジ ディベロップメント社が、当連邦政府及び市民、ひいては国全体を信頼している証です。これまで培ってきた当連邦政府との素晴らしい良好な関係性と、当連邦の市民にもたらされる利益に鑑み、レンジ ディベロップメント社を高く評価します。」とコメントしています。

レンジ ディベロップメント社の創設者、モハメッド アサリア氏は、「シックスセンスがセントキッツ島に進出することを心より歓迎します。最近、アメリカの大手旅行雑誌のトラベル アンド レジャー誌で“ベストホテルブランド”として選ばれたシックスセンスと、本プロジェクトと一緒に取り組めることを楽しみにしています。」とコメントしています。

シックスセンス ホテル リゾート スパ代表取締役社長、バーナード・ボーネンベルガーは、「好条件が揃ったセントキッツ島を当グループのポートフォリオに加えることに興奮を隠しません。カリブ海におけるリゾート開発に高い専門性と経験を持つレンジ ディベロップメント社とパートナーシップを組んで開発する本リゾートは、本当に素晴らしいリゾートになるでしょう。シックスセンスのサステナビリティに強くコミットした独自性あふれるスタイルや精神が深く浸透してきているアメリカ市場からのアクセスが良いことは、非常に良い立地条件です。」とコメントしています。



シックスセンス セントキッツの公式発表式典にて
写真左から：バーナード・ボーネンベルガー（シックスセンス ホテル リゾート スパ代表取締役社長）、ティモシー ハリス閣下（セントクリストファー・ネイビス連邦首相）、モハメッド アサリア氏（レンジ ディベロップメント社創設者）

シックスセンス セントキッツは、島の西側に位置し、首都バセテールに位置する国際空港（SKB）から美しい眺めが続く海岸線沿いの道路を通り、車で約 30 分の距離です。首都バセテールの国際空港には、アメリカ、カナダ、イギリスからの直行便やヨーロッパ諸国からの接続便、カリブ海諸国とをつなぐチャーター便が就航しています。

Six Senses Hotels Resorts Spas シックスセンス (Six Senses)、エバソン (Evason)、シックスセンス スパ (Six Senses Spas) のブランド名にて、現在20ヶ国、11軒のリゾートと28軒のスパを運営しています。今後5年間にポートフォリオを3倍に拡大すべく、様々なプロジェクトがオーストラリア、ブータン、カンボジア、中国、エジプト、フィジー、フランス、インド、インドネシア、イタリア、ニカラグア、スイス、台湾、タイ、チュニジア、アメリカで展開中。

Six Senses 自然環境と地域社会との共生、サステナビリティ、ウェルネスとデザインへのコミットメントを理念に掲げ、企業の社会的責任を遂行する徹底したスタンスより、自然派ラグジュアリーリゾートの先駆者として名を馳せています。各地の地域性を生かした斬新かつ独創的な体験をお楽しみいただけます。2019年には初の都市型リゾートのオープンを予定しています。

Six Senses Spas ウェルネス業界に於けるリーディングカンパニーとして、熟練のセラピストのもと地域の伝統を組み込んだホリスティックウェルネス、アンチエイジング治療などを提供しています。全てのシックスセンスとエヴェソンに加え、17のシックスセンス スパが、世界中の一流ホテルや空港のプレミアクラスラウンジにて、ナチュラル感溢れる癒しの体験を提供しています。

Evason シックスセンスの理念を継承しつつ、家族連れや友人同士の旅行からハネムーンまで幅広い客層のゲストに満喫していただけるカジュアルなラグジュアリーリゾートです。

リゾートの予約： Six Senses Hotels Resorts Spas 0120-921-324

問い合わせ： japan@sixsenses.com（日本語対応）

メディア関連の問い合わせ： ケントス・ネットワーク 03-3403-5328 / info@kentosnetwork.co.jp

